科目名	キャリアデザインⅠ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	170
授業概要、目的、授業の進め方	wishの学生として学校生活を送るためのルールを知る インターンシップへの不安を解消し、やる気と自信を生む 仲間づくりを通じて、コミュニケーション力を高めるワークを行う				
学習目標（到達目標）	学校生活でのルールを知り、社会人となる人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリントなど				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1～10	オリエンテーション（学校を知る・スケジュールを知る・学校の規律を学ぶ）	講義
11～20	クラスインフォメーション　（クラス・学年交流、身だしなみ、インターンシップ についての説明など）	講義
21～25	パソコンの設定・使い方指導	演習
26～30	ゴールデンウィークの課題確認・時間割、テキスト説明	講義
31～40	目標設定、クラスホームルーム	講義
41～50	クラスインフォメーション、インターンシップ面談	面談
51～60	インターンシップ履歴書書き指導	個人作業
61～65	インターンシップ前座談会	ディスカッション
66～75	インターンシップレポート、インターン先下調べ、大掃除	講義
76～80	インターンシップ振り返りレポート作成、後期時間割説明	講義
81～85	後期目標設定	講義
86～90	学年交流	講義
91～100	就職面談・求職登録面接準備	講義
101～110	求職登録面接対策	講義
111～120	国内就職研修旅行　事前学習	講義
121～125	研修旅行振り返り	講義
126～134	時間割説明、今後のスケジュールについて	講義
135～164	求職登録面接、就職対策	講義
165～170	学年交流、修了式、大掃除	講義

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
学習意欲　50%　出席率　50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間業務に携わる

科目名	就職対策				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	
必修・選択	必修	単位数		時間数	
授業概要、目的、授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1．就職活動の流れ 2．自己分析 3．企業研究 4．書類・面接について				
学習目標（到達目標）	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	勝つための就職ガイド　Success				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・
1 2	就職活動の心構え	テキスト　P.6～
3 4	就職活動の流れ	テキスト　P.14～
5～8	自己分析　自分自身を知る	テキスト　P.18～
9 10	職業を知る　自己分析	テキスト　P.27～
11 12	論理的文章の書き方・考え方	
13～18	履歴書・エントリーシートの書き方	
19 20	情報収集・企業研究	
21～23	情報収集のポイント	テキスト　P.36～
24～30	面接指導　自己分析　自己PR	テキスト　P.52～
31～35	面接練習　・　企業研究　・サイトの活用	テキスト　P.66～
36～50	就職研修　履歴書の写真撮影など	
51～60	就職研修（1～３月）・求職登録面接	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
学習意欲50%　出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	専門用語が多いため、分かりやすく説明するこ ト類の配布やサイトを活用して理解を定着させ

実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり

学校　シラバス

対面と遠隔
通年
60
備考
とに加えて、プリン るように指導する。

科目名	実践行動学Ⅰ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1. 意欲的な心構え・自分自身の可能性を導き出す為の為に、体験→気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標（到達目標）	半年毎の目標を設定させ、目標の実現を目指す為の思考力を学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所　実践行動学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	パート１　マジックドア１　夢と目標	個人作業・グループディスカッション
2	パート１　マジックドア２　間違った思い込みと言い訳	個人作業・グループディスカッション
3	パート１　マジックドア３　自分への信頼を取り戻すために①	個人作業・グループディスカッション
4	パート１　マジックドア４　自分への信頼を取り戻すために②	個人作業・グループディスカッション
5	パート１　マジックドア５　目標を設定しよう	個人作業・グループディスカッション
6	パート２　マジックドア１　プラス思考が能力・可能性を広げる	個人作業・グループディスカッション
7	パート２　マジックドア２　考え方を変えれば行動が変わる	個人作業・グループディスカッション
8	パート２　マジックドア３　あなたの問題はあなたが解決する	個人作業・グループディスカッション
9	パート２　マジックドア４　コミュニケーションスタイルを見直そう	個人作業・グループディスカッション
10	パート２　マジックドア５　目標が才能・可能性を開花させる	個人作業・グループディスカッション

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率８０％　授業態度20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう　留意する。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間業務に携わる

科目名	コミュニケーション				
担当教員	小林美江	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1．社会においてコミュニケーションの大切を知る 2．あらゆる場面でよりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身に付ける				
学習目標（到達目標）	コミュニケーション初級検定取得を目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウィネット　コミュニケーション技法・コミュニケーション検定　公式ガイドブック				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1 2	コミュニケーション技法 ・行動をチェックする　・効果的な自己紹介の方法　・コミュニケーション定義	講義　グループディスカッション
3	コミュニケーション技法 ・コミュニケーションの基本を身に付けよう	講義　グループディスカッション
4	公式ガイドブック　・聞く力	講義　チェック問題を解答→解説
5　6	公式ガイドブック　・話す力	講義　チェック問題を解答→解説
7　8	公式ガイドブック　・来客応対　・電話応対 ・アポイントメント　訪問　挨拶	講義　チェック問題を解答→解説
9　10	公式ガイドブック　・接客営業　・クレーム対応　・会議　取材　ヒアリング　・面接	講義　チェック問題を解答→解説
11 12	模擬問題練習	チェック問題を解答→解説
13 14	過去問題１	問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習
15 16	過去問題２	問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習
17 18	過去問題３	問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習
19 20	不得意箇所の克服	過去問１・２・３の苦手問題を再トライ
21 22	過去問題４	検定を想定して、マークシートにより問題を解く
23 24	過去問題5	検定を想定して、マークシートにより問題を解く
25	不得意箇所の克服	過去問4.5の苦手問題を再トライ

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
過去問題テスト80%、　授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	全員の検定合格を目指すため、復習に力を入れること。また、わからない内容は友人同士で共有し、解決できるように図らう。

実務経験教員の経歴	

②　　国際ホテル・ブライダル専門学校　シラバス

科目名	ホスピタリエ				
担当教員	髙橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1.ホスピタリエ資格取得をし、ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標（到達目標）	日常生活の中にホスピタリエの視点を自然にとりいれられるようにする。 社会の課題をホスピタリティの視点で見つめ、自分の考えを持つ思考習慣を身に着ける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1～5	ホスピタリエ認定講座	パワーポイント・テキスト
6	ホスピタリティの２つのステップ	パワーポイント
7	ホスピタリエに求められる５つの資質	パワーポイント
8	ホスピタリエのコミュニケーション習慣	パワーポイント
9	ホスピタリエの共感力を磨こう！	パワーポイント
10	ホスピタリエが家族に一番近い他人になるために	パワーポイント
11	ホスピタリエのホスピタリエ紹介	パワーポイント
12	ホスピタリエの学校生活とファーストステップ①	パワーポイント
13	ホスピタリエの学校生活とファーストステップ②	パワーポイント
14	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント
15	時事問題とホスピタリティ(かもしれないゲーム＆あるあるアンサー)	パワーポイント
16	環境問題とホスピタリティ(かもしれないゲーム＆あるあるアンサー)	パワーポイント
17	高齢化社会とホスピタリティ(かもしれないゲーム＆あるあるアンサー)	パワーポイント
18	ジェンダーとホスピタリティ(かもしれないゲーム＆あるあるアンサー)	パワーポイント
19	国際社会とホスピタリティ(かもしれないゲーム＆あるあるアンサー)	パワーポイント
20	国際社会とホスピタリティ(かもしれないゲーム＆あるあるアンサー)	パワーポイント
21	ＳＮＳとホスピタリティ(かもしれないゲーム＆あるあるアンサー)	パワーポイント
22	ＳＮＳとホスピタリティ(かもしれないゲーム＆あるあるアンサー)	パワーポイント
23	ホスピタリエが考えるホスピタリティ社会	パワーポイント
24	ホスピタリエが考えるホスピタリティ社会	パワーポイント
25	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。

実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅰ				
担当教員	小林美江	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学び、ｗｏｒｄ検定に合格する				
学習目標（到達目標）	サーティファイ　ワード文書処理能力検定３級　合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ　ＷＯＲＤ２０１９クイックマスター基本編　ワード文書処理能力検定３級問題集				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
123	テキスト～３６ｐまで	実習
45	文書の編集	実習
678	文書の印刷　文書の作成	実習
91011	表を使った文書の作成	実習
121314	図形や画像を使った文書の作成	実習
1516	検定対策　問題集　練習問題　１・２	実習
1718	検定対策　問題集　練習問題　３　模擬問題１	実習
1920	検定対策　問題集　模擬問題　２・３	実習
2122	検定対策　問題集　模擬問題　４・５	実習
2324	検定対策　問題集　模擬問題　６・７	実習
25～28	サンプル問題	実習
2930	ワード文書検定3級 受検	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率70%　学習意欲10%　検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	問題集をクリアすることで、検定合格率がアップすることから、学生のモチベーションをキープさせ、必ず終了するように考慮する。

実務経験教員の経歴	

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅱ				
担当教員	小林美江	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学習する。				
学習目標（到達目標）	パワーポイントの基本的操作を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント対応				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1～2	パワーポイントの基本操作　プレゼンテーションの作成	実習
3～4	文字やスライドの編集　オブジェクトの作成	実習
5～8	表やグラフの作成　表示効果とハイパーリンク	実習
9～10	スライドショーの実行　プレゼンテーションカスタマイズ	実習

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率70%　学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	任意検定のパワーポイント検定初級の受検が可能である。モチベーションの高い学生とそうでない学生の温度差が出ないように配慮する。

実務経験教員の経歴	

科目名	オンライン英会話			
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態
対象学科	ホテル・ウエディング科／葬祭ディレクター科	対象学年	1 年	開講時期
必修・選択	必須	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方	スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきま お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間 毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。			
学習目標（到達目標）	英語での会話に緊張せず対応できる。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スタディサプリEnglish			

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学
1.2	オリエンテーション　Unit1	スタディサプリEnglish・ロール
3	Unit1　Lesson 5　トレーニング 4	
4	Unit2　Lesson10　トレーニング 4	
5	Unit3　Lesson15　トレーニング 4	
6	Unit4　Lesson20　トレーニング 4	
7	Unit5　Lesson25　トレーニング 4	
8	Unit6　Lesson30　トレーニング 4	
9	Unit7　Lesson35　トレーニング 4	
10	Unit8　Lesson40　トレーニング 4	
11	テスト練習	
12・13	テスト	
14	振り返り	
15	Unit9　Lesson45　トレーニング 4	
16	Unit10　Lesson50　トレーニング 4	
17	Unit11　Lesson55　トレーニング 4	
18	Unit12　Lesson60　トレーニング 4	
19	Unit13　Lesson65　トレーニング 4	

20	Unit14　Lesson70　トレーニング４	
21	Unit15　Lesson75　トレーニング４	
22	テスト練習	
23・24	テスト	
25	振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注
授業態度40％　試験60％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	アプリを中心に学び、単語テストも

実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり

対面と遠隔
通年
25

す。

間をもうけています。

習・備考
プレイ・単語テスト

注意
適宜行う。

科目名	葬儀概論Ⅰ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	95
授業概要、目的、授業の進め方	1、葬祭業界を取り巻く社会環境を学ぶ。　2、テキストを使い、葬儀の歴史や一般的な知識、お墓について学ぶ。				
学習目標（到達目標）	確認テストで合格する／自身が気になった業界の現状についてレポート作成				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
１２	オリエンテーション（授業の目的を知る）	自己紹介
3~7	葬儀の流れを知る　臨終～遺体の搬送	葬儀概論　P102~P108
8~13	葬儀の流れを知る　遺体安置～枕経	葬儀概論　P107~P109 P115~P117
14~19	葬儀の流れを知る　死亡届・死亡診断書～火葬場予約	葬儀概論　P100~P101
20~24	葬儀の流れを知る　通夜・葬儀の打ち合わせ	葬儀概論　P109~P115
25~28	葬儀の流れを知る　死亡広告・弔辞	葬儀概論　P164~P166
29~31	葬儀の流れを知る　設営・飾り付け	葬儀概論　P125~P131
32~37	葬儀の流れを知る　納棺の仕方	葬儀概論　P118~P124
38~40	葬儀の流れを知る　飲食について	葬儀概論　P134 P147~P148
41~45	葬儀の流れを知る　通夜式とは	葬儀概論　P132~P135
46~50	葬儀の流れを知る　葬儀・告別式	葬儀概論　P135~P144
51~54	葬儀の流れを知る　出棺～火葬収骨	葬儀概論　P144~P148
55~58	葬儀の流れを知る　法要・納骨	葬儀概論　P149　　P154～158
59 60	確認テスト	
61~63	葬儀業界の現状を知る　〇〇葬	テキスト、インターネットなどで調べ学習
64~66	葬儀業界の現状を知る　業界に関わる仕事、企業	テキスト、インターネットなどで調べ学習
67~69	葬儀業界の現状を知る　孤立死	テキスト、インターネットなどで調べ学習
70~72	葬儀業界の現状を知る　葬儀社の形態	テキスト、インターネットなどで調べ学習
73~75	葬儀業界の現状を知る　樹木葬、海洋葬など	テキスト、インターネットなどで調べ学習
76~78	葬儀業界の現状を知る　ペット葬儀	テキスト、インターネットなどで調べ学習
79~81	葬儀業界の現状を知る　コロナウイルス環境下での取り組み	テキスト、インターネットなどで調べ学習
82~84	葬儀業界の現状を知る　火葬場	テキスト、インターネットなどで調べ学習
85~87	葬儀業界の現状を知る　終活	テキスト、インターネットなどで調べ学習
88~90	葬儀業界の現状を知る　葬儀社の販売促進	テキスト、インターネットなどで調べ学習
91~95	レポート作成	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
テスト80%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	初めて聞く言葉や単語を調べながら、自分でも学習すること

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。

科目名	葬儀実務				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	65
授業概要、目的、授業の進め方	1、葬儀の業務について座学と実習で学ぶ。 2、葬儀の流れを実習を通して覚える。				
学習目標（到達目標）	確認テストに合格する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂　葬儀概論・レジュメ				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1~4	オリエンテーション（授業の目的を知る）	動機付け・実習
5~10	葬儀の電話応対	実習
11~16	ご遺体の搬送	実習
17~22	枕飾り実習	実習
23~28	葬儀の打合せ	実習
29~34	自宅飾り・祭壇設営幕張	実習
35~40	納棺（基礎）	実習
41~46	司会（基礎）	実習
47~54	検定課題（接遇・司会）	実習
55~61	検定課題（幕張）	実習
62~65	確認テスト	実習

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
テスト80%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	葬儀概論Ⅰの内容とリンクさせながら学習すること

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。

科目名	手話Ⅰ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1、手話で自己紹介ができるようになる　2、相手を理解しようとする「思いやりの気持ち」を育む				
学習目標（到達目標）	手話の表現方法を身につけ、コミュニケーション能力を上げる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ゼロから学ぶ手話入門				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1 2	自己紹介・指文字・数字を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
3 4	挨拶・建物の名称を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
5 6	家族の言い方・乗り物の言い方を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
7 8	食べ物・飲み物の言い方を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
9 10	日常会話「天気」「趣味」を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
11 12	日常会話「遊び」「学校」を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
13 14	日常会話「家族」「災害」を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
15 16	確認テスト	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度30%、テスト50%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	多様性を理解し、社会に出たときに様々な人とコミュニケーションをとれる人材になるために取り組む。葬儀業界にいると様々なお客様がいることを事前に理解しておくことが必要。

実務経験教員の経歴	

科目名	葬祭フラワーⅠ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、葬祭にまつわる商品について知る 2、センスよく作成できる				
学習目標（到達目標）	フラワーアレンジメントの基礎を学び、簡単な花束やテーブルフラワーを作成することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	無し				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1.2	生花の扱い方を知る	実習
3.4	花束を作成してみる	実習
5.6	生花アレンジメントを作成してみる	実習
7～10	枕花作成	実務

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率80%、実技完成度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	講師の説明と実演をしっかりと聞き、お手本通りに創り上げる。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。

科目名	グリーフケアⅠ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、グリーフ（悲嘆）の概念と起こりえる症状を学ぶ 2、グリーフ状態にある遺族とどう関わるかを考えさせる				
学習目標（到達目標）	グリーフを知る、グリーフ状態にある遺族の様子を知る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂　葬儀概論				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業の目的を知る　「グリーフ（悲嘆）とは」	講義
2	グリーフのプロセス	講義
3 4	病院のエンゼルケア	講義
5 6	グリーフ（悲嘆）がもたらす影響について知る	講義
7 8	グリーフと向き合うために必要なこと	講義
9	グリーフとの共存	講義
10	確認テスト	講義

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率80%、実技完成度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	実際のケースから、遺族の考えや態度などを想像する

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。

科目名	イベントプロデュースⅠ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	105
授業概要、目的、授業の進め方	1、模擬葬儀イベントを通じて、学生の交流を図る　2、企業連携（業界の課題や現在の取り組みを知り、業界発展の提案を実施する				
学習目標（到達目標）	卒業制作発表会で葬祭分野の発表を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1~6	オリエンテーション～イベント内容を知る	グループワークやディスカッション
7～12	模擬葬儀の故人の設定、遺影写真、祭壇デザイン決める	グループワークやディスカッション
13～14	司会台本・納棺手順（台本）作成	個人作業
15～22	イベントリハーサル	リハーサル
23～24	イベント振り返り	振り返り
25～30	インターン振り返り～発表内容まとめ	振り返り～個人作業
31～45	企画書作成	個人作業
46～50	企画書　仮完成	個人作業
51～70	シナリオ、台本、パワポ作成	グループワークやディスカッション
71～90	企画書修正	グループワークやディスカッション
91～95	企画書完成	グループワークやディスカッション
96～103	プレゼンテーション練習	リハーサル
104105	イベント振り返り	振り返り

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度100％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	イベントを通じて、チームワークやコミュニケーションを磨いていきます。自分ができそうなことを見つけて積極的に取り組んでください。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった

科目名	インターンシップ研修（葬祭）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	160
授業概要、目的、授業の進め方	1、葬儀の流れを実際の現場で学ぶ 2、「葬儀社とは」「葬祭スタッフとは」を学ぶ				
学習目標（到達目標）	葬儀の流れを覚える				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	無し				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1～6	企業ルールを学ぶ	実習
7～155	先輩、指導係の方についてOJTで学ぶ	実習
156～160	インターンシップを振り返る	実習

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
参加態度100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	インターンシップでは式典の見学や準備が多いです。ご遺族のお宅にお邪魔する場合もありますので、社会人としてのマナーを身につけるよう努めてください。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。

科目名	パーソナルカラー				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	HW科ホテルコース 葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	色を意識したコーディネイト方法を学ぶ				
学習目標（到達目標）	自分に似合う色わかる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	カラーカード				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1.2	色と心理	
3.4	パーソナルカラー	
5	課題作成	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
検定90%、出欠席10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	就職活動においてより第一印象アップを目指しましょう

実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。

科目名	料飲サービス（実務）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1、料飲部門の業務内容、備品名称、法要に関する知識を身につける				
学習目標（到達目標）	確認テストを実施				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト　料飲Ⅰ　レストラン・宴会編				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業の目的を知る。ホテルのレストランの名前、宴会名、料飲とは	実務
2	備品の用途を理解し、名称を覚える（シルバーウェア・チャイナウェア・グラスウェア、陶器、グラス）	実務
3	西洋料理のフルコースの順序を理解する。　（第4章）	実務
4	宴会セールス・宴会予約・宴会サービスの業務内容、慶弔の知識	実務
5	確認テスト	実務

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率80%、実技完成度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	演習とのつながりを考えながら受講しましょう。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。

科目名	料飲サービス（演習）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1、料飲部門の業務内容、備品名称、法要に求められる技術を身につける				
学習目標（到達目標）	確認テストを実施				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト　料飲Ⅰ　レストラン・宴会編				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	皿・シルバー・グラス、トレイサービス実習	演習
2	シェーカー、バースプーン、メジャーカップ　カクテル作成実習	演習
3	ワイン抜栓実習	演習
4	和の作法（正座）、お茶お菓子のいただき方実習	演習
5	確認テスト	演習

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率80%、実技完成度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	実務とのつながりを考えながら受講しましょう。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。

科目名	ホテル概論（初級編）				
担当教員	渡邉恵	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1.ホテルや宿泊産業の概要、種類・形態とその組織、及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学ぶ。				
学習目標（到達目標）	1.ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	適宜、レジュメ資料を配布				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ガイダンス/ホテルの種類・組織・職種・ホテルで働く魅力	レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明
2	ホテルの成り立ち・歴史/ホテルの形態	レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明
3	宿泊部門の仕事（組織・職種・業務内容・基礎知識）	レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明
4	料飲部門の仕事（組織・職種・業務内容・基礎知識）	レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明
5	宴会部門（組織・職種・業務内容・基礎知識）	レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率50%　授業態度10%　レポート40% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	教養としてホテルの知識を身につけ、お客様に幅広い提案ができるようにしましょう。

実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった

②　　国際ホテル・ブライダル専門学校　シラバス

科目名	ブライダルスタンダード				
担当教員	武田奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	3
授業概要、目的、授業の進め方	ウエディングの意味や由来を知る。結婚式に出席をする際の基礎知識を身に着ける。　クイズ形式でグループディスカッション。				
学習目標（到達目標）	基本的なウエディング知識の理解。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	自己紹介、教会式について	パワーポイント
2	ウエディングケーキ、サムシングフォー ブーケ、ブートニア、花にまつわる演出	パワーポイント
3	招待状の返信について　お祝儀、ドレスコードについて	パワーポイント

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率８０％　授業態度20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	オンラインであればチャット書き込み、対面であればディスカッションで自分の意見を相手に伝えることも重視している。

実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる

科目名	センスアップセミナー				
担当教員	高橋 香織		実務授業の有無	あり	
対象学科	全科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	ホテル・ブライダル・葬祭業界に必要なセンスアップを実習をとおして習得する				
学習目標（到達目標）	印象の良いヘアメイクを１５分以内に出来るようになる。正しい姿勢で「歩く　立つ　座る」ができる。正しい発生・発音が出来る。話し方ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット　コミュニケーション技法　　プリント対応				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
１ 2	ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い　ヘアスタイル	ヘアメイク実習
3 4	ヘア仕上がりチェック　フルデモンストレーション　眉のみ練習	ヘアメイク実習
5 6	メイク練習	ヘアメイク実習
7 8	ヘアメイクを完璧に仕上げる	ヘアメイク実習
9 10	歩き方：基本姿勢　表情　お辞儀の仕方	テキスト２８・２９Pを参考にしながら
11 12	話し方：発生・活舌トレーニング	テキスト３８～４２ｐ　５０～５２ｐ
13 14	発生・活舌トレーニング　敬語プリント	テキスト５３～６６ｐ
15 16	ビジネス会話　　美しい日本語のフレーズ	テキスト６７～６８ｐ

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率８０％　学習意欲２0% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	お客様に見られていることを常に意識できるように学習を重ねること。

実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。

科目名	キャリアデザインⅡ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、授業の進め方	社会人になる前の心と体の準備を行う。自身の将来を考え、企業でどのように活躍していきたいかなど考える。目標を立て、そこに向かって学生時代に行うことができることを精一杯行う。				
学習目標（到達目標）	最終学年としての自覚を持ち、社会人としての人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スタディサプリ、その他プリントなど				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1～4	学校生活のルールを再確認する。	講義
5～8	就職活動の進捗状況を担任と確認する 内定者は、次の目標について考える	講義
9～18	自分を理解し、今後のキャリアデザインを考える	講義
19～22	1年生との交流を図る。	グループワーク
23～26	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める	講義
27～34	様々なイベントをお互いに見学しあい、刺激しあう。 それを自身のイベントに活かす。	グループワーク
35～36	前期を振り返る。最後の学生生活であることを意識する。	振り返り
37～40	後期の動機付け、後期目標設定、シート記入	講義
41～44	卒業までの残りを実感し、何をするべきか考える	個人作業
45～48	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める	講義
49～52	学年イベント（祭事を知る）	グループワーク
53～55	進級制作リハーサル見学	講義
56～65	卒業制作に向けての準備を行う	グループワークやディスカッション
66～70	学生生活の振り返り、まとめ	振り返り

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率50%、学習意欲（授業態度）50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。	社会人になるまであと1年もないということを自覚して、後悔のないように1回1回を大切に考えながら進めること。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。

科目名	ビジネス実務Ⅰ				
担当教員	小林美江	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1．社会人・職業人として大切な心構えと習得しておくべき基礎能力を習得する。 2．過去問題を多用し、試験内容を解く上でのテクニックも学習する。				
学習目標（到達目標）	ビジネス能力検定　ジョブパス2級　合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ビジネス能力検定ジョブパス2級　テキスト・問題集				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1　2	3級の復習	振り返り
3　4	検定取得の意義　　ビジネス用語の習得	講義　課題
5　6	2－1　仕事の進め方	講義　確認問題（問題集にて）
7　8	2－2　ビジネス文書の基本	講義　確認問題（問題集にて）
9　10	2－3　統計・データのまとめ方	講義　確認問題（問題集にて）
11 12	2－4　情報収集とメディアの活用	講義　確認問題（問題集にて）
13 14	2－5　会社数字の読み方	講義　確認問題（問題集にて）
15 16	2－6　ビジネスと法律・税金知識	講義　確認問題（問題集にて）
17 18	2－7　産業と経済の基礎知識	講義　確認問題（問題集にて）
19 20	過去問題　3－1	小テスト
21 22	過去問題　3－2	小テスト
23 24	過去問題　3－3	小テスト
25 26	過去問題　3－4	小テスト
27 28	過去問題　3－4	小テスト
29 30	検定	
出席率70%　学習意欲10%　検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		模擬問題を受けた後、出来ていない問題を中心に復習を行うようにすること。

実務経験教員の経歴	

科目名	ビジネス実務Ⅱ				
担当教員	小林美江	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1。実社会での仕事は、自分自身、社会の人、お客様、取引先といった周囲の人と関わりの中で進んでいることを認識する為、ビジネスマナーを習得する。 2．机上の学習だけでなくロールプレイングを多用し、日常生活でも実践できるよう図る。				
学習目標（到達目標）	会社組織のしくみと人間関係、来客応対、電話応対、訪問のマナー				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント対応				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	社会人としての心構え　職場での基本的マナー　職場の人間関係	講義　グループワーク
2	来客応対：接遇の意義と重要性　受付応対の基本用語　名刺の受け取り方	講義　ロールプレイング
3	案内の要領：廊下　エレベーター　応接	講義　ロールプレイング
4	お茶の出し方　見送り　応接の管理	講義　小テスト
5	電話応対：注意点　受け方の基本　電話応対基本用語	講義　ロールプレイング
6	応対電話：伝言メモの作成　電話のかけ方	講義　ロールプレイング
7	電話応対テスト	ロールプレイング形式
8	訪問のマナー：訪問の準備　交通手段に関する知識　応接室でのマナー	講義　ロールプレイング
9	自宅への訪問の心構え　テスト準備	講義
10	まとめテスト	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
模擬試験70%、学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	各自ロールプレイングを何度も行うことで、体得するよう心掛ける。

実務経験教員の経歴	

科目名	実践行動学Ⅱ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1．実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2．働くことへの意識を気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッショ　ンなどを通じて理解を深める				
学習目標（到達目標）	社会人へでる準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所　実践行動学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
12	パート３　マジックドア１　入学から今日までの成長を実感する	個人作業・グループディスカッション
34	パート３　マジックドア２　働く自分をイメージしてみよう	個人作業・グループディスカッション
56	パート３　マジックドア３　自分が最大限に生きる働き方とは	個人作業・グループディスカッション
78	パート３　マジックドア４　将来を描いてみよう	個人作業・グループディスカッション
910	パート３　マジックドア５　夢実現への第一歩を踏み出そう	個人作業・グループディスカッション

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率８０％　授業態度20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	就職直後、数年後、未来・・の目標を描かせることで、ポジティブな気持ちを継続させる。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。

②　　国際ホテル・ブライダル専門学校　シラバス

科目名	ホスピタリエ				
担当教員	髙橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標（到達目標）	ナレッジツリーのしくみを理解し、日常生活の中で知識教養が自然に身についていく生活習慣をつくる ホスピタリティ産業の中で、ホスピタリティがどのように活用され、あるいは活用されていないかを知り、実際のビジネスの現場について学びながら、自然にセカンドステップが発想できるようにトレーニングする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ホスピタリティの二つのステップの復習	パワーポイント
2	ホスピタリティの二つの能力とホスピタリエによるホスピタリエの自己紹介	パワーポイント
3	共感力コミュニケーションと同感コミュニケーションの比較	パワーポイント
4	知識を深める生活習慣とナレッジツリー	パワーポイント
5	ホスピタリエの教養講座①	パワーポイント
6	ホスピタリエの教養講座②	パワーポイント
7	ホスピタリエの教養講座③	パワーポイント
8	ホスピタリエの教養講座④	パワーポイント
9	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント
10	料飲ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント
11	ホテルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント
12	ホテルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント
13	ウエディングビジネスとホスピタリティ	パワーポイント
14	ウエディングビジネスとホスピタリティ	パワーポイント
15	フューネラルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント
16	医療ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント
17	航空ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント
18	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業	パワーポイント
19	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業	パワーポイント
20	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率80%、授業姿勢20%	

成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	小林美江	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース捜査のスキルを学び、ＥＸＣＥＬ検定初級を受検する。				
学習目標（到達目標）	サーティファイ　エクセル文書処理能力検定３級　合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ　ＥＸＣＥＬ２０１６クイックマスター基本編　　エクセル文書処理能力検定３級問題集				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
１２３	エクセルの基本　データの編集　表の編集	実習
４５６	ブックの印刷　グラフと図形の作成　ブックの利用と管理	実習
７８９	関数　データベース機能	実習
10 11 12	練習問題１	実習
13 14 15	練習問題２　３	実習
16 17 18	模擬問題１　２	実習
19 20 21	模擬問題３　４	実習
22 23 24	模擬問題５　６	実習
25 26	模擬問題７　苦手箇所の練習	実習
27 28	サンプル問題　事前対策	実習
29 30	エクセル検定3級受検	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
出席率70%　学習意欲10%　検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。

実務経験教員の経歴	

科目名	オンライン英会話				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ブライダル科／葬祭ディレクター科	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。				
学習目標（到達目標）	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スタディサプリEnglish				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1.2	オリエンテーション　Unit1	スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト
3	Unit1　Lesson５　トレーニング４	
4	Unit2　Lesson10　トレーニング４	
5	Unit3　Lesson15　トレーニング４	
6	Unit4　Lesson20　トレーニング４	
7	Unit5　Lesson25　トレーニング４	
8	Unit6　Lesson30　トレーニング４	
9	Unit7　Lesson35　トレーニング４	
10	Unit8　Lesson40　トレーニング４	
11	テスト練習	
12・13	テスト	
14	振り返り	
15	Unit9　Lesson45　トレーニング４	
16	Unit10　Lesson50　トレーニング４	
17	Unit11　Lesson55　トレーニング４	
18	Unit12　Lesson60　トレーニング４	
19	Unit13　Lesson65　トレーニング４	
20	Unit14　Lesson70　トレーニング４	
21	Unit15　Lesson75　トレーニング４	
22	Unit16　Lesson80　トレーニング４	
23	Unit17　Lesson85　トレーニング４	
24	Unit18　Lesson90　トレーニング４	
25	Unit19　Lesson95　トレーニング４	
26	Unit20　Lesson100　トレーニング４	
27	テスト練習	
28・29	テスト	
30	振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度40%　試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。

実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり

科目名	葬儀概論Ⅱ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	120
授業概要、目的、授業の進め方	1、葬祭業についての基礎知識（葬儀の意味、歴史、宗教、葬送儀礼、法規税務）を学ぶ。 2、テキストや検定の過去問題を使用し習得する				
学習目標（到達目標）	目指す業界人の姿を明確にする				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査過去問題集2020				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1　2	オリエンテーション　2年次の目標とスケジュールを知る	オンライン（ZOOM活用）にて
3　4	【第1章　葬儀の意味】葬儀の役割と意味	テキスト葬儀概論P10～15
5　6	【第1章　葬儀の意味】葬式の抱える環境ほか	テキスト葬儀概論P16～19
7　8	【第2章　葬儀の歴史】死と葬送の歴史年表（葬儀の発生～告別式誕生）	テキスト葬儀概論P22~P27
9　10	【第2章　葬儀の歴史】死と葬送の歴史年表（明治～東日本大震災）	テキスト葬儀概論P28~P36
11　12	【第2章　葬儀の歴史】葬儀の起源～浄土教の世界	テキスト葬儀概論P37~P48
13　14	【第2章　葬儀の歴史】鎌倉・室町時代の葬儀～明治維新と神仏分離	テキスト葬儀概論P48~P58
15　16	【第2章　葬儀の歴史】近世・近代の火葬の歴史～戦前までの葬儀	テキスト葬儀概論P58~P65
17　18	【第2章　葬儀の歴史】戦後の葬儀～現在の葬儀事情	テキスト葬儀概論P65~P78
19　20	【第3章　死とその環境】死の環境～死の判定と死因調査	テキスト葬儀概論P82～P91
21　22	【第3章　死とその環境】遺体と公衆衛生	テキスト葬儀概論P91～P98
23　24	【第6章　社葬・団体葬】社葬の位置づけ～社葬の知識	テキスト葬儀概論P236～P242
25　26	【第6章　社葬・団体葬】社葬の知識～社葬の設営と運営	テキスト葬儀概論P243～P250
27　28	【第7章　日本の宗教の概要】日本の宗教団体概要～神道、仏教、キリスト教、諸教	テキスト葬儀概論P252～P262
29　30	【第8章　宗教儀礼】神葬祭～天台宗～真言宗	テキスト葬儀概論P264～P273
31　32	【第8章　宗教儀礼】浄土宗～浄土真宗	テキスト葬儀概論P273~P281
33　34	【第8章　宗教儀礼】臨済宗～曹洞宗～日蓮宗	テキスト葬儀概論P282~P290
35　36	【第8章　宗教儀礼】カトリック～プロテスタント	テキスト葬儀概論P290~P299
37　38	【第8章　宗教儀礼】天理教～金光教～友人葬	テキスト葬儀概論P299~P307
39　40	【第10章　関連法規とその解説】墓地、埋葬等に関する法律～感染症法～船員法～医師法	テキスト葬儀概論P328～P331
41　42	【第10章　関連法規とその解説】戸籍法～軽犯罪法～刑法～刑事訴訟法～死体解剖保存法～献体法	テキスト葬儀概論P331～P335
43　44	【第10章　関連法規とその解説】警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律～行旅病人及び行旅死亡人取扱法～臓器移植法～貨物自動車運送事業法～生活保護法～割賦販売法	テキスト葬儀概論P335～P339
45　46	【第10章　関連法規とその解説】民法～消費者保護法～景品表示法	テキスト葬儀概論P339～P341
47　48	確認テスト～振り返り	
49　50	業界研究～オンライン葬儀の取り組み	調べ学習
51～58	業界研究～グリーフケアの取り組み	調べ学習
59～66	業界研究～葬儀社の営業戦略について	調べ学習
67～74	業界研究～消費者の終活に関する取り組み	調べ学習
75～82	業界研究～樹木葬、海洋葬の現状	調べ学習
83～90	業界研究～仏壇・墓石・手元供養について	調べ学習
91～98	業界研究～ペット葬儀の現状	調べ学習
99～106	業界研究～遺品整理、孤独死について	調べ学習
107～114	業界研究～異業種からの参入	調べ学習
115～118	卒業論文（テーマ決め～課題抽出～論文作成）	
119～120	振り返り～レポート記入	

成績評価基準	履修上の注意
授業態度25%、論文内容50%、学習意欲25% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	業界研究のために自ら企業に連絡してアポをとるなど、社会ですぐ実践するビジネスマナーにも取り組みます。

教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった

科目名	葬祭ディレクター検定対策講座				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定に合格できる力をつける 題を用意し夏季休暇中も取り組みを継続する 勤と連携し、検定本番を想定した練習を実施する				2、宿 3、非常
学習目標（到達目標）	検定合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査過去問題集2020				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1　2	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る	過去問題　学科2019～解説
3　4	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る	過去問題　学科2018～解説
5　6	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る	過去問題　実技筆記2019～解説
7　8	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る	過去問題　実技筆記2018～解説
9　10	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る	過去問題　学科2017～解説
11　12	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る	過去問題　学科2016～解説
13　14	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る	過去問題　学科2015～解説
15　16	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る	過去問題　実技筆記2017～解説
17　18	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る	過去問題　2014～解説
19　20	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る	過去問題　実技筆記2016～解説
21　22	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る	過去問題　実技筆記2015～解説
23　24	学科試験対策	オリジナル問題（宗教）～解説
25　26	実技試験対策	検定課題　接遇・司会
27　28	実技試験対策	検定課題　幕張
29　30	学科試験対策	オリジナル問題①～解説
31　32	学科試験対策	オリジナル問題（歴史）～解説
33　34	実技試験対策	検定課題　接遇・司会
35　36	学科試験対策	オリジナル問題（法規）～解説
37　38	実技試験対策	検定課題　幕張
39　40	学科試験対策	オリジナル問題②～解説
41　42	実技試験対策	検定課題　接遇・司会
43　44	実技試験対策	検定課題　幕張
45　46	最終確認	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	学科試験・実技試験それぞれの全員合格を目指す。検定直前では特別講義として非常勤と連携する。可能であれば企業のスタッフと一緒に学ぶ機会をつくる。

教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった

科目名	手話Ⅱ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1、幅広い表現力を身に着ける 2、自分の想いを手話で表現できる				
学習目標（到達目標）	手話の表現方法を身につけ、コミュニケーション能力を上げる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ゼロから学ぶ手話入門				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1 2	1年次の復習	動画を見て自主学習＋確認小テスト
3 4	日常会話「返事」「あいづち」を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
5 6	日常会話「交通機関」を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
7 8	日常会話「病院」を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
9 10	日常会話「郵便局・銀行」を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
11 12	日常会話「デパート」を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
13 14	日常会話「レストラン」を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
15 16	日常会話「旅行先」を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
17 18	指文字・単語集を実践で学ぶ	動画を見て自主学習＋確認小テスト
19 20	確認テスト	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度30%、テスト50%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	多様性を理解し、社会に出たときに様々な人とコミュニケーションをとれる人材になるために取り組む。葬儀業界にいると様々なお客様がいることを事前に理解しておくことが必要。

実務経験教員の経歴	

科目名	祭壇設営・幕張				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定課題であるテーブル幕張の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標（到達目標）	検定課題の合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ポンヂ（葬儀用の幕）				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	1年生で学んだことを振り返る	
2	試験課題(テーブル装飾）の要点を理解する	検定の要項を見て確認する
3～10	テーブル装飾のやり方を覚える	幕張の実習を行う
11～16	テーブル装飾練習（目標9分以内）	幕張の実習を行う
17～22	テーブル装飾練習（目標8分以内）	幕張の実習を行う
23～28	テーブル装飾練習（目標7分台以内）	幕張の実習を行う
27～30	テーブル装飾練習（7分以内）	幕張の実習を行う

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度20%、確認テスト結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	検定課題を中心に取り組む。制限時間だけを意識するのではなく、完成したもの（出来栄え）で採点されるため丁寧に取り組むこと。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で8年間携わった

科目名	司会実習				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定課題である司会の課題を覚え、実践できる　2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標（到達目標）	検定課題の合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査　過去問題集2020				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業の目的・内容の説明	
2	検定課題の司会のポイントや内容を覚える	検定の要項を見て確認する
3	葬儀における司会の目的を知る	葬儀概論　P141～142
4	葬儀における司会の役割を知る	葬儀概論　P143～144
5	検定課題（司会）の例題を実際にやってみる	実習
6～9	検定課題（司会）のセリフや流れを覚える	実習
10～15	検定課題（司会）の時間を計ってみる	実習
16 17	検定課題（司会）の過去問題2005年、平成14年を実施し問題に慣れる	実習
18 19	検定課題（司会）の過去問題平成15年、16年を実施し問題に慣れる	実習
20 21	検定課題（司会）の過去問題2005年を実施し問題に慣れる	実習
22 23	検定課題（司会）の過去問題2009年、2010年を実施し問題に慣れる	実習
24 25	検定課題（司会）の過去問題2006年、2007年を実施し問題に慣れる	実習
26 27	検定課題（司会）の過去問題2008年を実施し、4分以内で完成する	実習
28 29	検定課題（司会）の過去問題2011年を実施し、4分以内で完成する	実習
30 31	検定課題（司会）の過去問題2012年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する	実習
32 33	検定課題（司会）の過去問題2013年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する	実習
34 35	本番の雰囲気で検定課題（接遇・司会）を続けて実施し、本番のイメージを持つとともに4分以内で完成する	実習

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	検定課題を中心に取り組む。制限時間内に終了することと同時に、葬儀の司会者として丁寧な話し方が必要。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で8年間携わっている

科目名	接遇・受注（受注施行）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定課題である接遇の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標（到達目標）	検定課題の合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査　過去問題集2020				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業の目的・内容の説明	
2	検定課題の司会のポイントを知る	検定の要項を見て確認する
3	接遇応対（電話での応対）を実践し、遺族と葬儀社のやり取りのイメージを持つ	実習
4	接遇応対（病院・自宅での応答）を実践し、遺族と葬儀社のやり取りのイメージを持つ	実習
5	接遇応対(病院・自宅での応答）を覚えて実践できる	実習
6	接遇応対（遺体の搬送安置）を実践し、イメージを持つ	実習
7	家族葬と一般葬の違いを知る	実習
8	葬儀の実際のやり取りを聞き、自分が担当するときのイメージを持つ	実習
9	検定課題（接遇）の例題を実際にやって傾向を知る	実習
10	検定課題（接遇）の過去問題（2005年）を実際に行い、文章の作り方を覚える	実習
11	検定課題（接遇）の過去問題（2006年）を実際に行い、文章の作り方を覚える	実習
12	検定課題（接遇）の過去問題（2005年）を実際に行い、文章の作り方を覚える	実習
13	検定課題（接遇）の過去問題（2006年）を実際に行い、文章の作り方を覚える	実習
14	検定課題（接遇）の過去問題（2007年）を使用し、2分間の感覚をつかむ	実習
15	検定課題（接遇）の過去問題（2008年）を実践する	実習
16	検定課題（接遇）の過去問題（2009年）を実践する	実習
17	検定課題（接遇）の過去問題（2010年）を実践する	実習
18	検定課題（接遇）の過去問題（2011年）を実践する	実習
19	検定課題（接遇）の過去問題（2012年）を実施し、2分以内で完了する	実習
20	検定課題（接遇）の過去問題（2013年）を実施し、2分以内で完了する	実習
21	検定課題（接遇）の過去問題（2014年）を実施し、2分以内で完了する	実習
22	検定課題（接遇）の過去問題（2015年）を実施し、2分以内で完了する	実習
23	検定課題（接遇・司会2016年）を通して実施し、本番の流れを覚える	実習
24	検定課題（接遇・司会2017年）を通して実施し、本番の流れを覚える	実習
25	検定課題（接遇・司会2018年）を通して実施し、本番の流れを覚える	実習
26	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える	実習
27	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する	実習
28	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する	実習
29	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する	実習
30	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する	実習

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	導入では、葬儀のケーススタディから遺族の状況を知り、どう接していくかを想像しながら学ぶ。検定課題を中心に取り組み、時間内に課題を終了するだけでなく、丁寧な対応を身につけることが目的。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった

科目名	公衆衛生学・納棺師				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	40
授業概要、目的、授業の進め方	1、ご遺体の変化や感染症について知る　2、ご遺体の処置（死装束）への着せ替えを覚える				
学習目標（到達目標）	一人で着せ替えができるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 遺体管理の技術と知識				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	なぜ葬儀従事者に遺体処置や納棺の知識が必要なのかを知る	講義
2	死化粧が遺族にもたらす影響を知る	講義
3	葬儀における湯灌・納棺の種類や目的を知る	講義
4	儀式としての湯灌・納棺の意味を知る	講義
5	副葬品について学ぶ	講義
6	湯灌・納棺の流れを覚える	実習
7	湯灌・納棺の口上を覚える	実習
8	死化粧（あざ消し、シミ消し）のやり方を学ぶ①	実習
9	死化粧（あざ消し、シミ消し）をやり方を覚える	実習
10	死化粧（あざ消し、シミ消し）を実践できる	実習
11	遺体の状況を知るための方法を学ぶ	実習
12	遺体の確認ポイントを知り覚える	実習
13	遺体の状態や変化を学ぶ①（変色について）	講義
14	遺体の状態や変化を学ぶ②（漏出、むくみ）	講義
15	遺体の状態や変化を学ぶ③（スキンスリップ、腐敗）	講義
16	遺体の状態や変化を学ぶ④（皮下気腫、ガス）	講義
17	看護行為に起因する遺体の悪化状況を知る	講義
18	遺体の処置の目的や方法を学ぶ①（出血、点滴痕）	講義
19	遺体の処置の目的や方法を学ぶ②（腐敗、損傷）	講義
20～25	死化粧を実践し、やり方を覚える（ペアになってお互いにメイク）	実習
26~35	着せ替えの仕方を実践で覚える（2人でペア）	実習
36~40	確認テスト（一人で着せ替えを行う）	実習

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度20%、確認テスト80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	前半の座学で学んだことを、後半の実習で体系的に身につけるため、集中して取り組むこと。男子と女子の人数によって実習のパターンや回数が変わることがある。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で8年間携わっている

科目名	葬祭フラワーⅡ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1、フラワーアレンジメントの基礎知識を学び、墓花や仏花・祭壇生花の設営の仕方を実践で学ぶ。				
学習目標（到達目標）	祭壇生花のデザインを考え、実際に飾ってみる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1～2	墓花・仏花を作成してみる	実習
3~6	生花のアレンジを作成してみる	実習
7~15	菊と生花で祭壇を制作	実習

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度100％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	生花を扱うため、教室のにおいや汚れが残らないように片付けをきちんとさせる。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった

科目名	葬祭マーケティング論				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	1、マーケティングの基本概念や考え方を学ぶ。 2、葬祭業界の歴史や変遷を知る 3、プレゼンテーション・ディスカッションを通して問題の発見・解決する能力を身につける				
学習目標（到達目標）	相手に伝わるように、自分の意見が発表できるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1 2	オリエンテーション～授業の目的を知る	
3 4	マーケティングの概念を知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
5 6	マーケテイングの差別化について知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
7 8	4つのステップについて①細分化	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
9 10	4つのステップについて②ターゲットの特化	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
11 12	４つのステップについて③マーケテイングミックス	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
13 14	4つのステップについて④検証と学習	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
15 16	製品ライフサイクルの考え方を知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
17 18	葬祭業についておけるライフサイクルを知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
19 20	ブランドづくりについて知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
21 22	葬祭業におけるブランドを知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
23 24	葬祭事業者の種類について知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
25 26	葬祭事業者のそれぞれの取り組みを知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
27 28	顧客との長期的なつながりをつくる事例を知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する
29～35	レポート作成	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
ディスカッションへの貢献度30%　　課題発表提出40% 最終レポート30% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	毎回授業で一人ひとり発表するため、事前の準備を怠らないようにする。発表はパワーポイントを使用し、画像やデータを取り入れる。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった

科目名	グリーフケアⅡ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、グリーフ（悲嘆）の概念と起こりえる症状を学ぶ 2、グリーフ状態にある遺族とどう関わるかを考えさせる				
学習目標（到達目標）	グリーフを知る、グリーフ状態にある遺族の様子を知る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂　葬儀概論				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業の目的を知る　「グリーフ（悲嘆）とは」	講義
2	グリーフのプロセス	講義
3 4	病院のエンゼルケア	講義
5 6	グリーフ（悲嘆）がもたらす影響について知る	講義
7 8	グリーフと向き合うために必要なこと	講義
9	グリーフとの共存	講義
10	確認テスト	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度20%、確認テスト80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	実際のケースから、遺族の考えや態度などを想像する

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。

科目名	営業力（営業力強化検定）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定に合格できる力をつける 2、具体例を入れ現場をイメージさせる 3、検定本番を想定した問題を実施する				
学習目標（到達目標）	検定合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	図解　売れる営業のABC				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	営業とは何か	テキスト　第2部営業理論　第1章、第2章
2	営業における商品知識とは	テキスト　第2部営業理論　第3章
3	マーケティングの基礎知識	テキスト　第2部営業理論　第4章
4	顧客の購買心理	テキスト　第2部営業理論　第5章項目１～３
5	顧客ニーズとは	テキスト　第2部営業理論　第5章項目４～７
6	ビジネスマナーとセールスマナー	テキスト　第2部営業技術　第1章
7	営業プロセス１	テキスト　第2部営業技術　第2章項目１～３
8	営業プロセス２	テキスト　第2部営業技術　第2章項目４～７
9	コミュニケーション能力	テキスト　第2部営業技術　第3章
10	提案書作成	テキスト　第2部営業技術　第4章
11	販売促進	テキスト　第2部営業技術　第5章
12	クレームと情報管理	テキスト　第2部営業技術　第6章、営業管理　第1章
13	過去問題に取り組む①	
14	過去問題に取り組む②	
15	確認テスト	オリジナル問題

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度20%、確認テスト80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	顧客との関わりにおいて、様々なケーススタディから具体的なイメージを持つこと。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった

科目名	心理学（こころ検定）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定に合格できる力をつける 検定本番を想定した問題を実施する　　2、				
学習目標（到達目標）	検定合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	こころ検定公式テキスト・対策問題集				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1 2	こころと行動の関係「学習心理学とは」	テキスト第1章　P5~14
3 4	「なぜ行動してしまうのか？」	テキスト第1章　P15~20
5 6	「なぜ、やめられないのか？」	テキスト第1章　P21~26
7 8	「行動に影響を与える"こころ"の作用」	テキスト第1章　P27~32
9 10	「もっと上手に行動するには？」	テキスト第1章　P33~40
11 12	こころと物事の捉え方の関係「認知心理学とは？」	テキスト第2章　P41~47
13 14	「覚える・忘れると"こころ"の関係」	テキスト第2章　P48~53
15 16	「記憶と"こころ"の関係」	テキスト第2章　P54~59
17 18	「考えることと"こころ"の関係」	テキスト第2章　P60~65
19 20	こころと物事の捉え方の関係「時間と"こころ"の関係」	テキスト第2章　P66~72
21 22	からだとこころの関係「生理心理学とは？」	テキスト第3章　P73~78
23 24	「脳・神経と"こころ"の関係」	テキスト第3章　P79~86
25 26	「起きる・眠ると"こころ"の関係」	テキスト第3章　P87~91
27 28	「ウソと"こころ"の関係」	テキスト第3章　P92~96
29 30	「ストレスと基礎知識」	テキスト第3章　P97~104
31 32	見る・聞くとこころの関係「知覚心理学とは？」	テキスト第4章　P105~111
33 34	「見ることと"こころ"の関係①奥行の知覚」	テキスト第4章　P112~117
35 36	「見ることと"こころ"の関係②錯視」	テキスト第4章　P118~123
37 38	「聞くことと"こころ"の関係」	テキスト第4章　P124~128
39 40	「連動する知覚・様々な錯覚」	テキスト第4章　P129~136
41 42	自分と他者のこころ　「社会心理学とは？」	テキスト第5章　P137~143
43 44	「どうして他者が気になるのか？」	テキスト第5章　P144~149
45 46	「どうしたら良く見られるのか？」	テキスト第5章　P150~155
47 48	「コミュニケーションと"こころ"の関係」	テキスト第5章　P156~161
49 50	「"こころ"における個人と集団の違い」	テキスト第5章　P162~168
51 52	気持ちとやる気「感情心理学とは？」	テキスト第6章　P169~175
53 54	「気持ちとは？」	テキスト第6章　P176~181
55 56	「気持ちとからだの関係」	テキスト第6章　P182~187
57 58	「気持ちを測定する方法」	テキスト第6章　P188~193
59 60	「どうしたらやる気が出るのか？」	テキスト第6章　P194~200
61 62	頭を使うこととこころの関係「知能とは？」	テキスト第7章　P201~207
63 64	「知能の構造」	テキスト第7章　P208~213
65 66	「私たちの生活と知能」	テキスト第7章　P214~219
67 68	「人間の知能と動物の知能」	テキスト第7章　P220~225
69 70	「知能を測定する方法」	テキスト第7章　P226~232
71~86	検定対策	問題集より
87~90	確認テスト	オリジナル問題

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度20%、確認テスト80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	専門用語が多いため、授業後の復習・予習を行うこと。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった

科目名	イベントプロデュースⅡ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	170
授業概要、目的、授業の進め方	1、模擬葬儀イベントを通じて、学生の交流を図る 2、企業連携（業界の課題や現在の取り組みを知り、業界発展の提案を実施する				
学習目標（到達目標）	卒業制作発表会で葬祭分野の発表を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論ほか				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1~6	オリエンテーション～進級制作で発表した内容を振り返る	動機付け
7～14	全体で準備するものとチームで準備するものを分ける、チームを決める	グループワークとディスカッション
15～25	備品購入、担当決め	グループワーク
26～35	台本作成、個別練習	個人作業
36～45	イベントリハーサル	リハーサル
46～50	イベント振り返り＋お礼状作成	振り返り
51～60	企画内容決め	グループワークとディスカッション
61～70	他社イベント調査	グループワークとディスカッション
71～80	SNS広報配信、協力企業決め	グループワークとディスカッション
81～95	企画書/シナリオ、台本、パワポ作成	グループワーク
96～100	企画書/シナリオ、台本、パワポ　完成させる	グループワーク
101～160	発表練習、イベントリハーサル	リハーサル
161～166	イベント準備、最終チェック	リハーサル
167～170	イベント振り返り＋お礼状作成	振り返り

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
授業態度100％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	ラ・プリエールイベントでは、企画力や実行力・チームコミュニケーション力を学ぶことを目的とする。企業連携イベントでは、現在の企業の課題や取り組みを学ぶとともに、学生ならではのアイデアや取り組みを企画・実践し、自分の成長を感じられる機会にする。

実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった

科目名	卒業制作				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科科	対象学年	2年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	40
授業概要、目的、授業の進め方	業界が持つ、課題等を見つけ、それに対する企画を考え、提案していく。 イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標（到達目標）	発表会当日、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1 2	卒業制作に向けて全体で共有事項	グループワーク
3~6	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ	リハーサル
7～10	全体リハーサルの準備を始める（台本とパワポのタイミングを合わせる）	リハーサル
11～14	全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）	リハーサル
15～25	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）	リハーサル
26～34	全体リハーサル（本番をイメージしながら）	リハーサル
35～38	企業、保護者本番	本番
39 40	振り返り（個人シート、チーム）	振り返り

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
卒制実施30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。	業界の現状を調査し、課題を見つけ、それに対する提案を考えていきます。学生ならではの視点を重視し、実現可能かどうかも含めて、大人の意見を聞きながら進めていきます。自分たちの考えをまとめ、発信し、業界をよりよくするための発表を行います。

教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。